

新潟市報道資料

平成30年12月18日

報道各位

新潟市立中央図書館長

(担当 企画運営係)

「ほんぽーとBメール」第20号の発行について（お願い）

このたび当館では、「ほんぽーと Bメール（中央図書館だより）」第20号を別添のとおり作成いたしました。今回の号は、「特集 図書館をもっと身近に ご存知ですか？団体貸出」です。

つきましては、多くの方からご覧いただきたいと思いますので、広報活動にご協力くださいますようお願いいたします。

担当	新潟市立中央図書館 企画運営係 小針
電話	025-246-7700(代表)
FAX	025-246-7722

ほんぽーとではこんな事業を行いました!

第3期ほんぽーと子ども司書講座

平成30年7月31日(火)～8月3日(金)

今年は10名の参加者が絵本の読み聞かせなど、司書の仕事を学び、「子ども司書」に認定されました。昨年までに受講した「子ども司書」たちは、ほんぽーとの展示コーナーに設置する「おすすめの本を紹介するポップ」を作成しました。



コスミックカレッジ2018新潟会場キッズコース

(共催:コスミックカレッジ新潟会場実行委員会)

平成30年7月29日(日)

ほんぽーとの研修室でバレーシャトルやプチケットを作って、ホールで発射実験を行いました。参加した子どもたちは何度もチャレンジして、上手に飛ばせるようになりました。



特別コレクション「めぐる・つながる 坂口安吾」

平成30年7月5日(木)～10月2日(火)

坂口安吾と、安吾と関わりの深い人々をテーマに展示を行いました。中央図書館所蔵の初掲載雑誌や初版本を中心に、太宰治などの同時代を駆け抜けた作家たちとの対談や、芥川賞候補作に向けた鋭い評価などを紹介しました。



※平成30年12月6日(木)から平成31年3月5日(火)までは「入門 中田みづほ」を展示しています。

大人のためのほんぽーとシネマ

平成30年6月13日(水)

第14回アカデミー賞受賞作品「市民ケーン」を上映しました。参加者からは、「改めてじっくりと観ることができて良かった」などの声がありました。

ほんぽーと子どもシアター

平成30年7月21日(土)

夏休みに、絵本が原作の「おどるねごさかな」「ばけものづか」など、涼しくなるようなアニメを5作品上映しました。たくさんのお親子に楽しんでもらうために、手遊びも行いました。



図書館ボランティアデビュー講座

平成30年9月7日(金)、9月12日(水)

図書館でのボランティア活動に興味のある方を対象に、全2回の講座を行いました。

1回目は、クロスパルにいがたで活動している「生涯学習相談ボランティアだまり」主催の講演会「思いやりを科学する」を受講してもらいました。

2回目は、配架・書架整理ボランティアの体験や、参加者同士で図書館のイベントについて考えるワークショップを行いました。ほんぽーとで活動している「中央図書館友の会」による活動内容紹介の後に、アドバイスを受けるなどして、これからの活動の第一歩となりました。



中央図書館のボランティアの様子

- 開館時間 月～土曜日 午前10時～午後8時
日曜・祝日 午前10時～午後5時
- 休館日 毎月第2金曜日・第1水曜日(図書整理日)
年末年始(12/29～1/3)
- 駐車場 100台(最初の30分無料、以降30分毎に100円)
2,000円で3,000円分利用できるプリペイドカードを
駐車場入口の券売機で販売しています。
- 駐輪場 217台(正面玄関右手)

オープンからの入館者数 **7,395,392人** 10/31現在



- アクセス
・徒歩…新潟駅万代口より徒歩10分程度(約700m)
・バス…明石通りのバス停「蒲原町」または「明石2」
下車徒歩5分程度
(大形線、石山線、牡丹山線、竹尾線など)

編集・発行



〒950-0084 新潟市中央区明石2丁目1番10号
Tel 025-246-7700(代表) Fax 025-246-7722
ホームページアドレス <https://www.niigatacitylib.jp>
携帯アドレス <https://opac.niigatacitylib.jp/k/>

ほんぽーと
8メール (ピーメール)
中央図書館だより
第20号 2018.12 7,000部

ほんぽーと Niigata City Chuo Library 8メール

中央図書館だより

BメールのBは、ブック(本)のBとビーンズ(豆)のBからとりました。
※中央図書館には、ビーンズ(豆)型のホール、グループ学習室、カフェがあります。

2018.12
第20号

図書館をもっと身近に

おでかけほんぽーと in イオンモール新潟南

平成30年7月1日(日)、イオンモール新潟南で行われた「新潟市フェア※」に、中央図書館がブースを出展しました。絵本や図鑑など子ども向けの本や、料理や旅行に関する本、新潟に関する本など約300冊を並べて、本の貸出や貸出カードの発行を行いました。また、「中央図書館友の会」のボランティアが楽しい工作やゆめりのイベントを行い、たくさんのお子もたが参加してくれました。

※新潟市とイオンリテール株式会社が包括連携協定を結んだことに関連して開催されたイベント。



牛乳パックと輪ゴムで、
びよんびよんはねる
「ひっくりジャンピング」を
作りました!

ボランティア
との
工作の様子



虫の本
あるかなあ

お母さんと
一緒に
本を真剣に選ぶ
男の子

図書館をもっと身近に

ご存知ですか？ 団体貸出

団体貸出とは…？

個人ではなく学校や地域の集まり、会社等に図書館資料の貸出をする制度です。市民と本との出会いのきっかけを「もっと身近に」します！

どんな団体が登録できるの？

登録できるのは、新潟市内で活動実績のある団体です。例えば… PTA、自治会、町内会、地域の茶の間、子ども食堂、福祉施設、ボランティアグループ、会社、商店、NPO法人、サークルなど

カードを作るには？

- 来館し、申込書にご記入ください。
- 団体宛の郵便物や社員証、会則・規約など団体の確認ができる書類をお持ちください。

借りられる冊数・期間・資料

【冊数】1団体100冊まで
 【期間】1か月間
 ※貸出期間の延長はできません。
 【借りられる資料】図書・雑誌



本の借り方は2パターン

図書館セレクト

お客さまセレクト

図書館セレクト

ご希望に応じて図書館司書が本を用意します。

※ご希望により配達することもできます。
(送料は往復ご負担いただきます。)



お客さまセレクト

来館して自分で棚から本を選んで借ります。



オーダーメイド

「季節の料理の本」「読み聞かせに向く絵本」など、ご希望の内容を伺って本を用意します。



テーマ別セット

あらかじめ、利用しやすいように9つのテーマで25冊ずつのセットになっています。

- ①ふるさと ④赤ちゃん ⑦中高生
- ②小説 ⑤幼児 ⑧シニア
- ③バラエティ ⑥小学生 ⑨大活字本



★詳しくは図書館ホームページをご覧ください。 https://www.niigatacitylib.jp/?page_id=405



「新潟駅CoCoLo西館N+」の「ぼんしゅ館クラフトマンシップ」にある「そだたべBooks」さんからお話を聞きました。

団体貸出制度を知ったきっかけや、使おうと思ったきっかけを教えてください。

「そだたべBooks」松尾さん(以下:松):中央図書館の辰口館長補佐と以前から知り合いで、提案してもらったのが直接のきっかけです。「クラフトマンシップ」は新潟文化の交流拠点として、職人さんと“もの”を紹介するコンセプトのお店です。その中に入っている「そだたべBooks」も本を売るだけでなく、お客さんや作者さん、出版関係の方などの交流の場になりたいと思っています。文化の交流拠点という意味で、図書館の団体貸出を利用できるのではないかと考え、今回使わせてもらいました。



団体貸出の本が展示されている様子



「そだたべBooks」松尾さん

現在(平成30年7月)は「水と土の芸術祭」の関連本を利用されていますが、お客さんの反応はどうでしょうか。また、団体貸出制度を使ってみて、気になることなどはありますか。

松:図書館から借りた本の中に、一般の書店では売っていない本、自分で意識して図書館に行かないと出会えない本があり、「あの本すごいね」と言われたりします。「水と土の芸術祭」にも店側にも良いことだと思います。気になるのは図書館から借りた本の汚損や紛失です。

軽い破れ等は図書館が修理します。また、展示や管理の方法もアドバイスいたしますので、お気軽に図書館へご相談ください。

現在は「水と土の芸術祭」の関連本の展示をしていますが、今後はどのようなことをしようと考えていますか。

松:ほぼ1か月に1回程度展示を替えています。考えているのは「新潟開港150周年」、秋にはお米の本、「にいがた酒の陣」の時はお酒の本を置くなど、いろいろやっていこうかと思っています。あとは「クラフトマンシップ」に置いてある商品の横に関連本を置きたいです。

販売用の本とは別に、図書館から借りた本のコーナーを設置し、お客さんにも区別がつかやすいように展示を工夫していました。松尾さんありがとうございました！



東区河渡にある多世代型地域の茶の間「ゆりの会」の皆様と杉山さんにお話を聞きました。

「ゆりの会」について教えてください。

皆川さん(以下:皆):以前にも地域の茶の間をやっていましたが、今年の4月から多世代型地域の茶の間として再スタートしました。町内会の福祉部で運営しています。警察から防犯の話をしてもらったり、季節のイベントをやったりしています。

団体貸出制度を知ったきっかけを教えてください。

皆:図書館職員でもある民生委員さんから「団体だと100冊借りられますよ」と教えてもらったのがきっかけです。いつもは50冊くらい借りています。

どのような使い方をしていますか。

杉山さん(以下:杉):普段はテーマ別セットを借りていますが、今回は夏休みでいろいろな年齢の人が来てくれるのではないかと思います。自分で図書館の本棚から様々な本を選んでみました。イベントがない時は高齢の方が多いので、気軽に読める本を借りています。また、歴史の本など男性が好む本も借りています。

皆:ここ以外にも「老人憩いの家じゅんさい池」に地域の茶の間「こもれび交差点」があります。そこに本棚を置いて図書館にしています。本も図書館から50冊程借りていて、使う人には「大切に使ってね」と言っています。

杉:私は図書館の空間が好きで、個人としては良く本を借りていますが、今回団体貸出制度を初めて知りました。身近に本を手にとれる環境があるのは良いことです。

皆:今は子どもの利用が少ないので、ぜひ子どもたちにも来て欲しいですね。

図書館の本だけでなく子育てサークルさんからいただいたという大型絵本などもあり、和気あいあいとした空間でした。ゆりの会の皆さんありがとうございました！



「ゆりの会」の様子



大型絵本の読み聞かせ